

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日	～	令和7年 11月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日	～	令和7年 11月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安全に過ごせるための適切な人員配置を行っている。	利用児童に対して1対1以上の人員配置を行い、また看護師、機能訓練職員など専門的支援ができる職員を複数名配置することにより、安心して児童が活動に取り組めるよう支援している。	2026年1月から作業療法士を常勤職員として迎えるため、さらなるリハビリ体制の強化につなげていく。 また、継続的に看護師確保を行っていき、医療ケア児が安心して過ごせるようスタッフ間で協力していく。
2	個別支援計画に沿って、児童が様々な体験・経験ができるよう活動に取り組んでいる。	プログラムが固定化しないように工夫している。 屋外活動(公園、買い物、音楽鑑賞会など)も積極的に行っている。	下記にもあるよう、地域のこども達と交流・活動できるような場を設けていきたい。
3	事業所での活動の様子を、写真を取り入れ詳細に連絡帳に記載することで、保護者への見える化を図っている。	保護者様へ活動の内容や、児童の反応が目に見えわかるように写真を取り入れ、また行った支援についてはその内容を詳細に記載することで情報共有できる体制をとっている。	活動の内容や様子だけでなく、保護者様ももっと気軽に相談できるような雰囲気、体制づくりを行い、より密な情報共有ができるよう努めていきたい。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者やきょうだい、家族を踏まえた支援ができていない。 それに伴い、保護者との報告・連絡・相談がやや希薄になっているところがある。	開所1年目であり、児童の支援に精一杯となっている (家族支援への余裕がない)。	児童に対する支援だけではなく、もっと家族に目を向けた支援を行っていく必要がある。 来年度以降、計画的に実施していきたい。
2	事業所で行っている活動や行事、訓練などが周知できていない。	周知する媒体が少ない。 保護者様との定期的な相談の場が少ない。	SNSやHP、お便りの内容をもっと充実させ、活動や行事のアピールをしていく。 また、必要に応じて保護者と定期的な支援内容などについて相談ができる場を設けていく。
3	地域交流の機会が少ない。	地域の児童館や児童クラブなどへの呼びかけができていない。	地域にある施設へ積極的に声をかけ、児童同士が実りある活動へつなげられるように支援していく。